

|  |   |
|--|---|
| <p>★学校の教育目標</p> <p>★目指す学校像（ビジョン）</p> <p>【目指す児童・生徒像】 ・自ら課題を設定し、自分で考え、判断し、行動して課題を解決する子供 ・自他の課題解決と創造のために協働できる子供</p> <p>【目指す学校像】 全ての子供の活躍の舞台（楽しいこと、夢中になれるものがあり、楽しい仲間と大好きな先生に自分のよさが認められ、一人一人が安心して力を発揮することができる学校）</p> <p>【目指す教師像】 ・子供の理解に努め、認め励ましなが、子供と共に実践する教師 ・自らの資質向上に努め、子供の生きる力を育むことができる教師</p> | <p>★重点計画の概要</p> <p>プロジェクト名：『子供たちがつくる学校』プロジェクト</p> <p>「子供たちが、自分たちの学校を自分たちの力でつくる」活動に取り組むことを通して、これからの社会の中で自立して生きる力の基盤を育む。そのために、次の4点を基本方針とする。</p> <p>①「AARサイクルを自ら回し続け、課題を解決する力」の育成<br/>                 ②「仲間と協働的に関わり、集団の中で自分を生かす力」の育成<br/>                 ③「心身共に健康で、運動を通して自らの生活を豊かにする力」の育成<br/>                 ④「自他の生命を大切に、多様な他者とよりよく生きる力」の育成</p> |
|--|---|

| 領域                   | 中期経営目標                   | 短期経営目標  | 具体的方策  | 評価指標・評価基準               |                        |
|----------------------|--------------------------|---|--|-------------------------|------------------------|
|                      |                          |   |  | 取組指標                    | 成果指標                   |
| みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる | 主体的・対話的に深く学ぶ子供の育成        | 子供が自らの目標をもち、自分のペースや自分に合った方法を選んで学習活動に取り組めるようにする。<br>（「個別最適な学び」の実現） | ・学習履歴等から子供一人一人の習熟度を把握し、ICT機器等を活用して、個別に最適な学習を推進する。<br>・個々の学習の目標を設定したり、個人やグループ等で学び合ったりしながら、自分に合った学習方法を選択して学習に取り組めるようにする。             | 4 具体的方策に教員の90%以上が取り組んだ。 | 4 90%以上の児童が、肯定的な評価をした。 |
|                      |                          |   | 3 具体的方策に教員の85%以上が取り組んだ。  | 3 85%以上の児童が、肯定的な評価をした。  |                        |
|                      |                          | 2 具体的方策に教員の80%以上が取り組んだ。   | 2 80%以上の児童が、肯定的な評価をした。   |                         |                        |
|                      |                          | 1 具体的方策に取り組んだ教員が80%未満であった。  | 1 肯定的な評価をした児童が80%未満である。  |                         |                        |
| みんなの多様な学びとしあわせをつくる   | 自他のよさや違いを認め、共に高め合える子供の育成 | 子供同士が協力して学び合い、仲間とともに課題を解決していく学習活動に取り組めるようにする。<br>（「協働的な学び」の実現）    | ・「できた・わかった・高まった」が実感できるよう、協働して課題解決する活動を工夫する。<br>・自分の考えを発表・交流する場を効果的に設定し、自分の考えをもち、友達に伝え、互いのよさや違いを理解し、学び合い高め合うことができるようにする。            | 4 具体的方策に教員の90%以上が取り組んだ。 | 4 90%以上の児童が、肯定的な評価をした。 |
|                      |                          |   | 3 具体的方策に教員の85%以上が取り組んだ。  | 3 85%以上の児童が、肯定的な評価をした。  |                        |
|                      |                          | 2 具体的方策に教員の80%以上が取り組んだ。   | 2 80%以上の児童が、肯定的な評価をした。   |                         |                        |
|                      |                          | 1 具体的方策に取り組んだ教員が80%未満であった。  | 1 肯定的な評価をした児童が80%未満である。  |                         |                        |
| みんなの多様な学びとしあわせをつくる   | 自他のよさや違いを認め、共に高め合える子供の育成 | 自分たちの学級・学年・学校をよりよくしていこうとする実践力を育てる活動を行う。                           | ・学級会における話し合い活動を充実させ、話し合って決めたことを実践し、結果について振り返る活動を実施する。<br>・係活動や実行委員会等を充実させ、自分たちの学級や学年をよりよくしていくための自治的な活動に取り組めるようにする。                 | 4 具体的方策に教員の90%以上が取り組んだ。 | 4 90%以上の児童が、肯定的な評価をした。 |
|                      |                          |   | 3 具体的方策に教員の85%以上が取り組んだ。  | 3 85%以上の児童が、肯定的な評価をした。  |                        |
|                      |                          | 2 具体的方策に教員の80%以上が取り組んだ。   | 2 80%以上の児童が、肯定的な評価をした。   |                         |                        |
|                      |                          | 1 具体的方策に取り組んだ教員が80%未満であった。  | 1 肯定的な評価をした児童が80%未満である。  |                         |                        |
| みんなの多様な学びとしあわせをつくる   | 自他のよさや違いを認め、共に高め合える子供の育成 | 発達の段階に応じた各学年の役割を果たし、様々な仲間と共に「集団をつくる活動」に主体的に取り組む活動を活性化させる。         | ・なかよし班活動やクラブ活動等、異学年での交流活動を充実させ、責任感や思いやりの心、協力し合う態度を育てる。<br>・委員会の活動を活性化し、子供と教員が共有する目標「今よりもっと楽しい学校をつくる」やSDGsをテーマとした活動等の全校的な取り組みを実施する。 | 4 具体的方策に教員の90%以上が取り組んだ。 | 4 90%以上の児童が、肯定的な評価をした。 |
|                      |                          |   | 3 具体的方策に教員の85%以上が取り組んだ。  | 3 85%以上の児童が、肯定的な評価をした。  |                        |
|                      |                          | 2 具体的方策に教員の80%以上が取り組んだ。   | 2 80%以上の児童が、肯定的な評価をした。   |                         |                        |
|                      |                          | 1 具体的方策に取り組んだ教員が80%未満であった。  | 1 肯定的な評価をした児童が80%未満である。  |                         |                        |
| 社会と未来に関き、みんなで作る      | 多様な他者を尊重し、協働できる子供の育成     | 保護者・地域との連携及び協力を推進し、教育活動の充実と安全を確保するための取組を行う。                       | ・地域人材を生かした教育活動を積極的に実施する。保護者や学校地域コーディネーターと連携を図り、子供たちにとって有意義な活動を設定する。<br>・多様な体験的活動の場を設定したり、地域とのつながりを生かした教育活動を展開したりする。                | 4 具体的方策に教員の90%以上が取り組んだ。 | 4 90%以上の児童が、肯定的な評価をした。 |
|                      |                          |   | 3 具体的方策に教員の85%以上が取り組んだ。  | 3 85%以上の児童が、肯定的な評価をした。  |                        |
|                      |                          | 2 具体的方策に教員の80%以上が取り組んだ。   | 2 80%以上の児童が、肯定的な評価をした。   |                         |                        |
|                      |                          | 1 具体的方策に取り組んだ教員が80%未満であった。  | 1 肯定的な評価をした児童が80%未満である。  |                         |                        |
| 社会と未来に関き、みんなで作る      | 多様な他者を尊重し、協働できる子供の育成     | 通常の学級・特別支援学級・特別支援教室との連携による教育活動を推進するとともに、特別支援教育を充実させる取組を行う。        | ・教員間で連携を取り、保護者との連絡を密にしながら、子供が感じている学校生活上の困難さに対する支援体制を充実させる。<br>・たちばな学級との交流を中心に据え、様々な交流及び共同学習を実施する。                                  | 4 具体的方策に教員の90%以上が取り組んだ。 | 4 90%以上の児童が、肯定的な評価をした。 |
|                      |                          |   | 3 具体的方策に教員の85%以上が取り組んだ。  | 3 85%以上の児童が、肯定的な評価をした。  |                        |
|                      |                          | 2 具体的方策に教員の80%以上が取り組んだ。   | 2 80%以上の児童が、肯定的な評価をした。   |                         |                        |
|                      |                          | 1 具体的方策に取り組んだ教員が80%未満であった。  | 1 肯定的な評価をした児童が80%未満である。  |                         |                        |

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。